

18TH PIANO RECITAL

# YASUKO FURUKAWA

古川泰子 第18回ピアノサイタル

2011.6.12(日) 14:00開演  
(13:30開場)

紀尾井ホール(四谷)

全自由席 4,000円

L. v. Beethoven

L.V. ベートーヴェン

Sechs Bagatellen op.126

6つのバガテル 作品126

R. Strauss

R. シュトラウス

Sonate für Klavier op.5

ピアノソナタ 作品5

F. Liszt

F. リスト

Trois études de concert No.3 Un sospiro

3つの演奏会用練習曲 第3番 “ため息”

Zwei Konzert Etüden

2つの演奏会用練習曲

Nr.1 Waldesrauschen

Nr.2 Gnomensreigen

第1番 “森のざわめき” 第2番 “小人の踊り”

Ungarische Rhapsodie Nr.2 cis-moll

ハンガリー狂詩曲 第2番 嬰ハ短調

Photo by T. Someya

主催 アルページュ 後援 FAZOLI ピアノフォルティ(株)

お問い合わせ ◆ アルページュ:080-5429-9128 info-arpege@softbank.ne.jp

◆ 紀尾井ホールチケットセンター:03-3237-0061





## FAZIOLIとの出会い

私にとって2010年は、CDの録音と発売～リサイタル～演奏旅行と盛りだくさんの年でした。そして極めつけは、イタリア製ピアノ・ファツィオリとの出会いです。

11月、演奏会の下見を兼ねて、仙川アヴェニュー・ホールにFAZIOLIの試弾に行きました。うっとりするようなアートケース・シルバーの美しいピアノ・・・鍵盤に触れ、音が響いたとたん、身体的全細胞が化学反応を起こしたような、私の何もかもが変わってしまったような、不思議な衝撃を受け、目前に新しい音楽の扉が開いたような高揚感を覚えました。

思いつくままに曲を弾いてみました。すると、ますます、このピアノで弾いてみたい曲が次から次と脳裏に浮かび、興奮を抑えることが出来ませんでした。

その日、予定の下見を終えた後、その足でFAZIOLIの日本総代理店であるピアノフォルティのショールームを訪れ、1台のピアノに出会い一目惚れ!

何の算段もないまま、心の中ではピアノの購入を決めていました。

そして、12月にはそのFAZIOLIピアノが私の家に来ていました!!

すべてが夢の中の出来事のように、長年ベーゼンドルファーを愛用してきた私には、天地がひっくり返るほどの大事件でした。

さて、今年のリサイタルでは、最大級のコンサート・グランドピアノFAZIOLI F308を使用予定です。紀尾井ホールにどんな音を響かせてくれるのか、想像するだけでドキドキしてしまいます。(古川泰子)



### 2010年発売CD

<ベーゼンドルファー 290 を使用したライブ感覚のホール録音>

古川泰子ピアノアルバム vol.1 "IBUKI"

発売: NAVI [www.navi-co.com](http://www.navi-co.com) 2,835 円(税込)

【収録曲】

L. v. ベートーヴェン: ピアノソナタ第 14 番 嬰ハ短調 作品 27-2

幻想風ソナタ『月光』

F. ショパン: 24 の前奏曲 作品 28

C. ドビュッシー: 喜びの島 / ペルガマスク組曲 No.3 月の光



古川泰子プロフィール

武蔵野音楽大学器楽学部ピアノ科卒業。新人演奏会に出演。東京文化会館推薦音楽会オーディションに合格。

2000年、2002年、米国コロラドスプリングス、エヴァンズビルでユースオーケストラと共演。2004年にはブルネイ王国にて、国交樹立20周年記念式典に演奏者として招待される。2005年、渡露し、St. Petersburg 音楽院の Prof. Vladimir Poliakov に教えを受ける。2006年、米国インディアナ州 Tri-State 大学にて演奏会を開く。2007年、中国北京中央音楽院にてソロリサイタルを開催。

今最も注目されているピアノ (ショパン国際ピアノコンクール2010年より公式採用)

# FAZIOLI



## 音楽と科学的知識への情熱

偉大な職人技能、技術的な研究への固い献身そして厳選された材料—これらがファツィオリのピアノ、完璧主義者のためのピアノを造り出すための必要条件である。しっかりとした見事な低音域を持ち、中音域も高音域も全くそれにひけを取らない、上品な音色。リッチでいて、きらびやかで透明感のあるその音色は、バルトロメオ・クリストフォリが考えたイタリア生まれの理想:「フォルテ」と「ピアノ」という理想にインスパイアされている。

響板に使用される木材は一般的なスプルースではなく、イタリア・フィエンメ (Fiemme) 渓谷から伐採された赤トウヒ (Abete Rosso) が使用されます。この赤トウヒは質量が軽く木目が均一な事から、振動伝達に最も優れています。弦楽器の名器ストラディバリや現代のクレモナ市の弦楽器製作学校も同じ渓谷から伐採しています。

〒108-0022

東京都港区海岸 3-2-15 潮路橋ビル

ピアノフォルティ株式会社

Tel 03-6809-3534 Fax 03-6809-3536

URL: [www.fazioli.co.jp/](http://www.fazioli.co.jp/) E-mail: [info@fazioli.co.jp](mailto:info@fazioli.co.jp)